

事務事業名	南湖第一保育所維持管理事業			所属部局 保健福祉部	単位番号 5170			
	□ 実施計画事業							
	□ 実施計画事業							
基本政策	IV	快適で心のかよいあう都市づくり			予算科目 会計	5170		
	17	社会福祉の充実				五味たけみ		
	28	児童福祉の充実				五味たけみ		
政策	17	社会福祉の充実			事業区分 事業区分	5170		
	28	児童福祉の充実				5170		
		□ 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度) □ 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)				5170		
施策	28	児童福祉の充実			法令根拠	5170		
		□ 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度) □ 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)				5170		
		事業の内容・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載				5170		
事務事業の概要	保育所消耗品、灯油、公用車ガソリン代、電気・水道・ガス・施設修繕料、電話代、ストーブ点検・駐車場使用料、NHK受信料、モップリース代、砂場用砂代、植木消毒手数料、浄化槽維持管理料、遠足バス借り上げ料 直接児童に関わらない管理経費を施設等の状況把握を行い執行をして行く。			事業費の主な内訳 (22年度) 項目(細節) 金額(千円) 项目(細節) 金額(千円)	事業費の主な内訳 (22年度) 項目(細節) 金額(千円) 项目(細節) 金額(千円)	5170		
						5170		
						5170		

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	保育所維持管理運営の予算を執行する
22年度活動実績	保育所維持管理運営の予算を執行する
23年度活動予定	保育所維持管理運営を行い予算の執行をする
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	施設の維持管理
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていくのか、どのように変えるのか)	保育事業が円滑に行えるよう施設、機械、備品等安全で快適な環境を維持する。
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	児童福祉の充実により安心して子育てができる環境づくり

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない 名称 単位
ア:保育所管理事業費
イ:
ウ:
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない 名称 単位
ア:児童数
イ:職員数
ウ:
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない 名称 単位
ア:決算状況
イ:修繕箇所
ウ:
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない 名称 単位
ア:保育所に満足している保護者数
イ:

(2) 事業費・指標の推移		単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算見込・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間トータル	事業費	国庫支出金	千円						
		県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	690	2,039	2,155	2,117	2,117	
		事業費計 (A)	千円	690	2,039	2,155	2,117	2,117	0
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	1,300	1,300	1,200	1,200	1,200	
		人件費計 (B)	千円	5,799	5,799	4,754	4,754	4,754	0
		(A)+(B)	千円	6,489	7,838	6,909	6,871	6,871	0
活動指標		ア:		2,039.0	2,155.0	2,177.0	2,177.0	0.0	
対象指標		ア:	68.0	72.0	60.0	61.0	61.0	0.0	0.0
成果指標		ア:	8.0	10.0	10.0	9.0	9.0	0.0	0.0
上位成果指標		ア:	47.0	64.0	54.0	52.0	52.0	0.0	0.0

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化 市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	昭和28年4月創立。新園舎昭和54年2月28日完成。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べどう変化しているか?また、今後の予測は?	園舎の老朽化などで修繕費の増加が予想される。団地、新興住宅、の児童の数は減少している。しかし維持管理事業は削減できない。統合の実施平成26年4月公設運営施設になる事が決定。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	早急な園舎建て替えの要望。平成26年4月公設運営施設になる事が決定。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	「 <input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている」⇒【内容】 <input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしていない⇒【理由】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	大掛かりな修繕は見送り、施設や遊具の必要最小限の修理を実施し児童の安全に努めた。
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	水漏れ修理、ブライント修理、屋根板落下防止等、入所児童の安全に努めた。

事務事業名	南湖第一保育所維持管理事業	所属部	保健福祉部	所属課	南湖第一保育所
-------	---------------	-----	-------	-----	---------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 この事業は、施設の維持管理費用の為上位目的に結びついている。
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 民間委託として1園がスタートしたが、公共性のあるサービス提供は今後も必要であり公立保育所の存在は必要である。
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 公共性のある施設でのサービス提供は今後も必要であるが建物の老朽化、児童減少に伴い早急に統合の方向に進めて欲しい。
有効性評価	④成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 維持管理事業なので、成果の向上余地がない。安全な保育環境を維持する。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 少子化に伴う維持管理等の負担増を、統合によりコストダウンが出来るとともに良い環境で保育することが出来る。 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 保護者への就労援助が出来ない。
効率性評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 施設運営の為の維持管理事業費なので削減余地がない。園舎の老朽化に伴う修繕費は今後増加が予想される。
	⑧人件費の削減余地 成果を下げず人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 施設運営の為の維持管理事業費なので削減余地がない・正職員の数が少ない中臨時職員の削減は無理である。
公平性評価	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 施設運営の為の維持管理事業費なので公平公正に行われている。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	修繕費の増加、児童減少のため、第2保育所との統合を早急に実施し快適な環境での安全保育を望む。
②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)…複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																						
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果)																						
<input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果)																						
<input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)																						
(2) 改革改善案について	コスツ水準																						
①南湖第2保育所との統合 ②国の施策である、幼保一体化についても建設に当たって今後重要な課題になるのではないか。 ③	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">向上</td> <td colspan="3">コスツ水準</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">維持</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>下</td> <td colspan="3"></td> </tr> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>	向上	コスツ水準			削減	維持	増加	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下				下			
向上	コスツ水準																						
	削減	維持	増加																				
維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>																				
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																				
低下																							
下																							
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果																						
①児童数の減少により経費割合は減少しているが、修繕費は増加、管理維持費は維持していかなければならない。 ② ③	成果優先度評価結果 (12)																						
	コスト削減優先度評価結果 (6)																						